

考查項目別運用表

[記入方法] 該当が の項目は該当に1を入れることを原則とし、 の項目は該当する場合のみ1を入れるものとする。

(建築 ・ 監督員用)

考查項目	細別	該当	評価	a	b	c	d	e		
				優れている。	良好である。	適切である。	やや不適切である。	不適切である。		
3. 出来形及び 出来ばえ	. 品質 建築工事			「評価対象項目」 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 品質確認記録の内容が、適切である。 施工の各段階における完了時の、品質が適切である。 躯体工事における施工の品質が、良好である。 内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 その他（理由： ） 該当項目の内達成項目が 9 0 % 以上 a 該当項目の内達成項目が 8 0 % 以上 ~ 9 0 % 未 満 . . . b 該当項目の内達成項目が 6 0 % 以上 ~ 8 0 % 未 満 . . . c 該当項目の内達成項目が 6 0 % 未 満 d 評価対象項目が 2 項目以下の場合には c 評価とする。			評価	品質の管理に関して、 工事監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当事項があれば ... ・ d	評価	工事請負契約約款第17 条に基づき工事監督員 が改造請求を行った。 上記該当事項があれば ... ・ e
		評価率								
		評定								
		点数								

1. 目的物の品質の水準を評価すること。

2. 品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。